

# 平成 16 年度

## 杉並区当初予算

### 目 次

1 当初予算編成の基本的考え方	1 頁
2 財政規模	2 頁
3 歳入の概要（一般会計）	3 頁
4 歳出の概要（一般会計）	5 頁
5 重要施策 - 安全・安心をかため、 元気・活力に挑む -	7 頁
6 分野別の主な施策	12 頁
7 実施計画事業の予算化	14 頁
8 「スマートすぎなみ計画」の実施	16 頁
9 特別会計	17 頁

# 1 当初予算編成の基本的考え方

## 【区政を取り巻く環境と課題】

日本経済は、企業業績を反映して株価が安定的に推移するなど、景気が回復基調にあると言われるものの、雇用や所得環境など依然として厳しい状況です。また、税財政制度に関する三位一体の改革についても、今後の税源移譲の道筋が、いまだ明らかとなっていないなど、先行き不透明感は否めません。

区税収入についても個人所得の落ち込みを反映し、減収が見込まれており、区も引き続き、慎重な財政運営が求められています。

こうした中で、地域の安全・安心の確保や保健・福祉の充実とともに、地域経済の活性化、生活環境の整備など、区民生活をめぐる区政の課題は、山積しています。

## 【予算編成方針】

平成16年度は、杉並区の未来を見据えつつ、安全・安心の諸施策を一層推進し、元気と活力ある地域社会を再生していくため、

### 「安全・安心をかため、元気・活力に挑む」予算

と位置付け、次の点を基本に編成いたしました。

- 1 「安全・安心のまちづくり」、「元気と活力あるまちづくり」、「未来(あす)に夢を育むまちづくり」の3分野を重要施策とし、重点的に予算配分しています。
- 2 「実施計画」に盛り込んだ計画事業は、前倒しや拡充を含め、可能な限り予算計上しています。
- 3 「第2次行財政改革実施プラン」の計画項目は、確実に予算に反映させるとともに、17年度までに達成すべき財政健全化目標を踏まえた予算としています。

## 2 財政規模

### (1) 予算総額

予算額での比較

(単位：千円)

	16年度当初予算	15年度当初予算	増減額
一般会計	139,760,000	128,258,000	11,502,000
国民健康保険事業会計	43,992,282	42,469,726	1,522,556
老人保健医療会計	41,176,873	43,990,833	2,813,960
用地会計	1,059,001	1,083,001	24,000
介護保険事業会計	22,519,126	21,059,590	1,459,536
合計	248,507,282	236,861,150	11,646,132

一般会計と4つの特別会計の総予算額は、2485億728万円となり、前年度と比べて116億4613万円、4.9%の増となりました。

増となった主な要因としては、一般会計では減税補てん債の借換えなどにより公債費が増加したこと、また、特別会計では国民健康保険及び介護保険において保険給付費が増加したことなどがあげられます。

### (2) 一般会計

- 平成15年度当初の財政計画額と比べ、102億5602万円、7.9%の増、当初予算額では115億200万円、9.0%の増となりました。

(単位：百万円)

一般会計	16年度当初	15年度当初	前年比・増減額
財政計画	140,597	130,341	107.9% 10,256
予算額	139,760	128,258	109.0% 11,502

### 3 歳入の概要（一般会計）

財政計画額での比較 (単位：百万円)

歳入区分	16年度当初計画	15年度当初計画	増減率	
一般財源	111,747	98,997	12.9%	
主な内訳	特別区税	53,913	54,258	0.6%
	利子割交付金	870	1,000	13.0%
	地方消費税交付金	5,520	5,000	10.4%
	地方特例交付金	5,071	5,163	1.8%
	減税補てん債	1,100	1,200	8.3%
	特別区財政交付金	25,200	25,500	1.2%
	繰越金等	9,141	5,030	81.8%
特定財源	28,850	31,344	8.0%	
特別区債	875	1,202	27.2%	
合計	140,597	130,341	7.9%	

\* ( ) 内の数値は対前年度当初予算額

特別区税 539億1325万円 (344,854千円減)

特別区税は539億1325万円で、平成15年度当初計画額と比べ3億4485万4千円、0.6%の減、平成15年度決算見込額と比較し、1.9%の減を見込みました。

利子割交付金 8億7千万円 (130,000千円減)

利子割交付金は、高金利時代の郵便貯金の満期到来による一時的な増収が終わり、今後の増収は見込めない時代に入りました。平成16年度は前年度と比べ13%の減を見込み、8億7千万円計上しました。

配当割交付金 3億3千万円 (皆増)

平成15年度の証券税制改正により、新たに歳入として見込まれる経費を計上しました。

株式等譲渡所得割交付金 2億1千万円 (皆増)

平成15年度の証券税制改正により、新たに歳入として見込まれる経費を計上しました。

地方消費税交付金 55億2千万円 (520,000千円増)  
 納付時期の関係で平成15年度分1か月分が16年度に交付されることにより、前年度比で5億2千万円の増を見込んでいます。

○地方特例交付金 50億7100万円 (92,000千円減)  
 恒久的減税による財源補てん措置として、地方特例交付金を50億7100万円見込みました。前年度と比べ、9200万円、1.8%の減となりました。

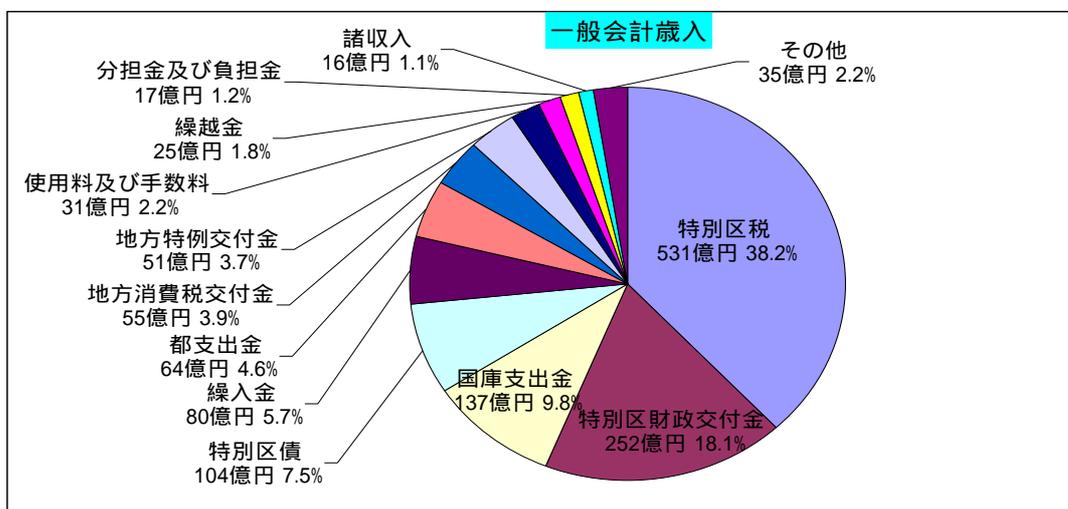
減税補てん債 11億円 (100,000千円減)  
 恒久的減税による財源補てん措置である減税補てん債の発行限度額は、17億6791万円と見込まれます。しかし、引き続き財政健全化を目指す姿勢を堅持するため、発行額の圧縮を行い、11億円を計上します。

○特別区財政交付金 252億円 (300,000千円減)  
 平成16年度においては、三位一体の改革に伴う影響が明らかになった時点で、必要な補正を行う予定です。

繰越金等 91億4147万円 (4,111,821千円増)  
 減税補てん債を一括償還するため、減債基金を55億7920万円取崩すとともに、繰越金25億円を見込み、さらに特別区税の引き続き減収に対応するために「財政調整基金」から10億円の取崩しを行います。

○特別区債 8億7500万円 (327,000千円減)  
 施設建設に充てる特別区債の発行は、(仮称)杉並南中央公園建設に関連した公園債6億1300万円の発行を含めて発行額は8億7500万円で、前年度当初予算と比べて3億2700万円の減となりました。

図1 一般会計当初予算 歳入の構成



## 4 歳出の概要（一般会計）

財政計画額での比較

（単位：百万円）

歳出区分	16年度当初予算	15年度当初予算	増減率
職員人件費	40,159	41,329	2.8%
公債費	22,176	9,553	132.1%
既定事業	69,448	65,456	5.0%
新規・臨時事業	642	2,290	72.0%
投資事業	7,335	9,630	23.8%
歳出予算計	139,760	128,258	9.0%
財源保留額	837	2,083	59.8%
合計	140,597	130,341	7.9%

事業数	計 492 事業
既定事業	443 事業
新規・臨時事業	13 事業
投資事業	36 事業

- (1) 職員人件費 401億5916万1千円（1,170,072千円減）  
給料については、予算人員120名の削減、給与改定率の0.79%引き下げなどを反映し、11億7007万円の減となりました。
- (2) 公債費 221億7567万2千円（12,622,733千円増）  
前年度と比べ126億2273万円の増で221億7567万円となり、一般会計に占める公債費の割合は15.9%です。これは、減税補てん債の償還満期が到来し、減債基金を活用して償還するものと借換えをするものを併せて139億7920万円あるために増となるものです。平成16年度末の起債残高は、前年度から107億円の減、650億円程度になる見込みです。
- (3) 新規事業 1億7830万3千円（1,499,913千円減）  
公共施設予約システム「さざんかねっと」の改造や、システムに「すぽ一つ・ねっと」の機能を追加するなど、公共施設予約システム維持管理運営経費に6853万円計上しました。  
その他の主な新規事業としては、介護老人保健施設用地を借上げる「介護老人保健施設運営」、荻窪五丁目に開設される（仮称）すぎなみ環境情報館の維持運営や事業運営などがあります。

(4) 臨時事業 4億6353万9千円 (148,588千円減)  
 第二次地域経済活性化緊急プランの一つとして、国の制度を活用する「緊急地域雇用対策事業」2億5670万円や、参議院議員選挙などがあります。

(5) 投資事業 73億3554万6千円 (2,294,511千円減)  
 投資事業の大半は、15年度以前からの継続事業です。

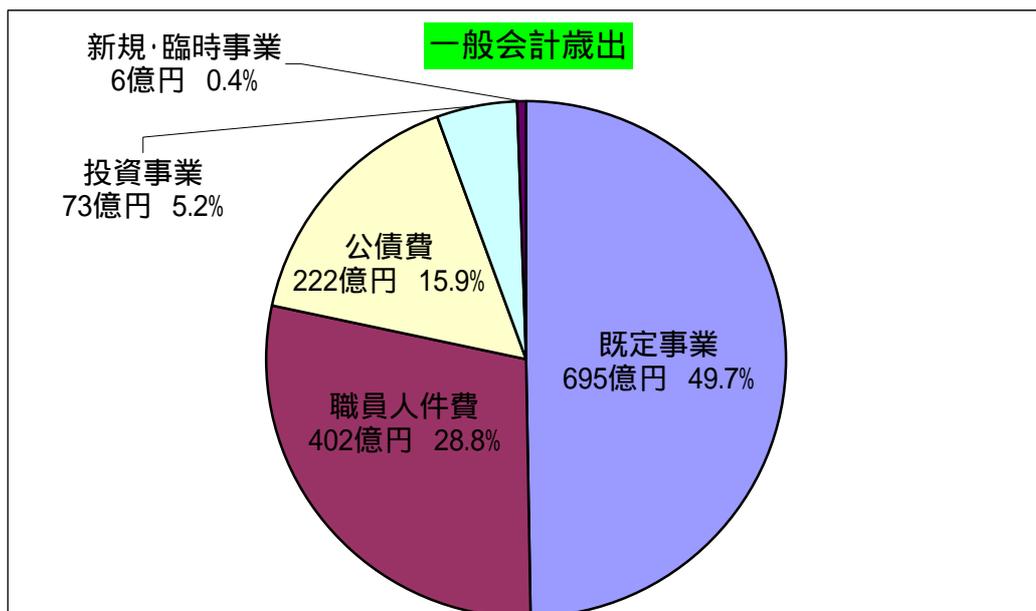
- ・ 地域防災無線の整備 1億7981万円
- ・ 道路の路面改良 7億4682万円
- ・ 都市計画道路 10億3264万円
- ・ 小中学校の耐震改修 5億3036万円
- ・ 学校教育諸施設整備充実 8億5131万円 など

新たな事業としては、

- ・ 旧方南幼稚園跡地における保育園及び図書館の建設 2億3641万円
- ・ 学校教育施設安全対策 8680万円
- ・ 和田堀公園プール改修 6233万円 など

(6) 財源保留 8億3702万7千円 (1,245,978千円減)  
 前年度の当初予算は「準骨格予算」のため保留額を増やしましたが、平成16年度は8億円程度を保留しました。

図2 一般会計当初予算 歳出の構成



## 5 重要施策 - 安全・安心をかため、元気・活力に挑む -

### (1) 安全・安心のまちづくり 14億8476万8千円

#### 区民とともに創る安全のまち 695,482千円

地域における犯罪を防止し、健康危機や災害時等の不測の事態に迅速・的確に対処するため、危機管理への取組みを強化します。

##### 危機管理体制の充実 231,238千円

- ・ 危機管理マニュアルの策定、管理職講習会の実施 (11,014千円)
- ・ 安全パトロール執行体制の整備 (64,824千円)
- ・ 区立施設への防犯カメラ等の設置及び区立施設の緊急改修 (155,400千円)

##### 生活安全の確保 131,470千円

- ・ 防犯自主活動団体への支援の拡充、商店街等への防犯カメラ等の設置助成 (53,500千円)
- ・ モデル地区(高円寺地区)の指定による地域安全対策の重点化 (74,917千円)
- ・ 防犯診断と防犯意識の普及 (3,053千円)

##### 防災対策の推進 332,774千円

- ・ (仮称)杉並南中央公園オープン (129,515千円)
- ・ デジタル地域防災無線の設置 (179,810千円)
- ・ 防災市民組織の育成強化 (23,449千円)

#### 安心して暮らせるまち 413,376千円

誰もが健やかに暮らすことのできる地域社会を築くため、保健・福祉の基盤整備を拡充します。

##### 杉並型救命救急体制の整備 18,000千円

- ・ 救命救急医療連携体制の構築 (12,200千円)
- ・ 小児救急の充実 (5,000千円)
- ・ 初期救急対応能力の向上 (800千円)

##### 高齢者地域支援研究会の設置 2,969千円

- ・ 高齢者虐待に関する実態調査の実施、痴呆高齢者への支援策の充実  
介護サービスの質の確保等

##### 入所型介護施設の整備 167,477千円

- ・ 痴呆性高齢者グループホームの確保 (94,518千円)
- ・ 未利用地(方南二丁目)及び永福三丁目用地を活用したグループホーム設置の条件整備 (72,783千円)
- ・ 善福寺三丁目用地における特別養護老人ホーム設置の条件整備 (176千円)

障害者の自立生活支援	145,463 千円
・ 心身障害者入所更生施設の確保	(120,000 千円)
・ 障害者のための就労支援	(2,749 千円)
・ 重度知的障害者生活寮の確保	(未計上)
・ 通所訓練授産事業等への助成	(22,714 千円)
増大する保育需要への対応	79,467 千円
・ 認証保育所運営	(21,033 千円)
・ 荻窪北保育園の定員拡大	(498 千円)
・ (仮称) 民営保育園方南分園の設置	(57,936 千円)
・ (仮称) 上高井戸第二学童クラブの設置(高井戸東小に併設)	(15 予算措置)

### 区民が安心して歩きたくなるまち 221,394 千円

小柴博士の功績を記念し、地域の自然や景観を活かした遊歩道を整備するとともに、架空線や障害物を除去し、安全で快適な生活空間を拡大していきます。

「科学と自然の散歩みち」の整備	199,894 千円
生活道路における電線類の地中化・歩道の段差解消	21,500 千円

### 行政情報の安全強化 154,516 千円

個人情報情報の漏洩や不正な侵害を防止し、情報管理の徹底と安全な情報基盤を確立するため、I S M S の認証取得に伴い情報セキュリティ対策を強化します。

## (2) 元気と活力あるまちづくり 11 億 5941 万 7 千円

### 地域の力を活かした経済の活性化 442,150 千円

商店街や事業者、創業意欲のある区民への支援を通じて、地域の産業振興と経済の活性化を図り、地域文化やコミュニティ形成など地域特性を活かした魅力あるまちづくりを推進します。

第二次地域経済活性化緊急プラン	379,150 千円
・ 千客万来アクティブ商店街事業	(60,000 千円)
・ 商店街活性化緊急対策事業	(2,000 千円)
・ 景気対策緊急運転資金融資	(30,000 千円)
・ 空き店舗活用支援事業	(16,450 千円)
・ S O H O (スモールオフィス・ホームオフィス) 支援事業	(5,000 千円)
・ 起業家(創業)セミナーの実施	(3,200 千円)
・ 緊急地域雇用対策事業の活用	(256,695 千円)
・ 求職者等支援事業の充実	(5,805 千円)

アニメを活用した商店街の活性化	1,000 千円
アニメの杜推進事業の充実	62,000 千円
・ アニメ資料館の整備	(58,000 千円)
・ アニメ匠塾の積極的な活用	(4,000 千円)

### まちを元気にする地域交流の促進 3,250 千円

友好都市はじめ杉並区との交流に意欲のある地方都市との人やモノなどの交流を通して、商店街の活力やまちの元気を交流都市相互が分かち合い、地域の活性化と特色あるまちづくりを推進する区民等の取組みを支援します。

交流の場の設定や交流希望の地域のコーディネート 250 千円

区又は地域とゆかりのある自治体や地域団体等と商店街との共同イベントの支援 3,000 千円

農産物などの特産品の交流販売の支援（上記共同イベントに含む）

### 区民一人ひとりの力を生かす仕組み作り 17,952 千円

地域活動を支援するため情報基盤の整備を行うとともに、地域の課題や問題解決に向けて、区民・NPO・事業者・行政の協働の枠組みとシステムを構築します。

地域参加情報サイトの構築・支援 10,520 千円

- ・ 「(仮称)地域参加情報サイト検討会」の立上げ及び運営方法等の検討 (1,178 千円)
- ・ 地域参加情報サイトのシステム構築・開設への準備及び普及啓発 (9,342 千円)

(仮称)協働評価委員会の設置 432 千円

協働に関する政策提案事業の実施 5,000 千円

(仮称)杉並人づくり大学創設の条件整備 2,000 千円

### 明るいまち、ふれあいのある地域づくり 6,000 千円

社会や集団生活での基本的ルールやマナーを守り、明るく元気のあるまちづくりを進めていくため、挨拶の励行やしつけなどについての普及啓発を進めます。

挨拶・声掛けの励行 1,000 千円

生活マナー・しつけの普及啓発 5,000 千円

### 駅周辺の整備 437,750 千円

交通結節点であり、都市機能が集積するJR・私鉄の駅周辺の整備を推進し、区民生活の利便性の向上と地域の活性化を図ります。

下井草駅周辺の整備 19,300 千円  
「駅・まち一体改善事業」を活用した整備事業の実施  
高円寺駅周辺の整備 37,950 千円  
・ 駅舎の改築計画に伴う駅前広場の整備計画等の検討・高南通りの段差解消、歩道拡幅、電線地中化等の調査研究 (1,000 千円)  
・ 有料制自転車駐車場(2 箇所)オープン (36,950 千円)  
荻窪駅西口連絡橋、同南口地下通路オープン 380,500 千円  
京王線久我山駅南北自由通路南側オープン  
248,000 千円 (15 年度繰越明許費)

**コミュニティ交通の整備 90,440 千円**

南北の交通アクセスを中心に身近なコミュニティ交通を確保するため、民間バス事業者と連携し、交通網の整備を進めます。

すぎ丸の運行路線の増設 89,440 千円  
バス路線の調査・検討 1,000 千円

**環境にやさしいまちづくり 161,875 千円**

資源循環型社会の早期実現に向けた取組みを推進するとともに、環境負荷を軽減し、快適な生活環境を創造します。

一般廃棄物処理基本計画とリサイクルの推進 127,784 千円  
・ ペットボトル回収拠点の拡大と集積所モデル回収の実施 (12,339 千円)  
・ プラスチック分別モデル回収 (25,169 千円)  
・ エコ商店街事業 (18,000 千円)  
・ カラス対策(容器出しによるモデル収集地域の拡大等) (72,276 千円)

太陽エネルギーの活用 16,110 千円

・ 太陽光発電装置の設置助成

過剰包装の抑制・環境配慮行動の拡充 9,420 千円

・ 環境意識の高い優良事業者に対する表彰制度の創設 (1,000 千円)

・ ごみ減量化に向けた区民発意事業の実施 (8,420 千円)

(仮称)すぎなみ環境情報館オープン 8,561 千円

(3) 未来(あす)に夢を育むまちづくり 7億 9794 万円

**地域の魅力を発信する文化の香り高いまち 10,000 千円**

地域の自然、歴史、伝統芸能や逸話など、集積するまちの魅力を杉並ブランドとして発信し、個性あふれる地域文化を創造するとともに、音楽・演劇など文化・芸術活動を支援することにより、区民の夢を育む「文化区杉並」をめざした施策を推進します。

(仮称)杉並学会の設立 1,000 千円

文化・芸術活動団体への支援 9,000 千円

### 地域の力を活かした教育力の向上、教育立区へ 778,878 千円

児童・生徒の学力・体力の向上と魅力ある教育環境を整備し、次代を担う子どもたちの個性豊かな人間性を培う人格形成教育を進めていくため、教育内容の向上と地域の教育力を強化・拡充します。

教育改革の推進 28,500 千円

・学力・体力向上の調査研究 (23,000 千円)

・杉並の教育改革の発信 (5,500 千円)

特色ある学校づくり 134,556 千円

・学校運営予算の充実 (34,000 千円)

・学校サポーター制度の充実 (23,560 千円)

・幼小連携・小中一貫教育の実現 (20,771 千円)

・心身障害教育の充実 (3,637 千円)

・学校経営・人材育成への支援 (1,000 千円)

・外国人による英語指導の充実 (25,466 千円)

・スクールカウンセラー (10,122 千円)

・企業との連携によるIT教育の充実 (15,000 千円)

・研究指定校における総合的な学習の時間の充実 (1,000 千円)

図書館サービスの充実 204,987 千円

・子ども読書計画の推進 (16,155 千円)

・中央図書館の通年開館化 (4,129 千円)

・高井戸地域区民センター図書室と区立図書館とのネットワーク化の実施及び大学図書館との連携のための条件整備 (6,230 千円)

・(仮称)方南図書館の設置 (178,473 千円)

教育環境の整備 410,835 千円

・校舎等の耐震改築等 (397,659 千円)

・学校環境衛生の確保 (13,176 千円)

### スポーツを通じた健康づくりの推進 9,062 千円

区民の健康増進とスポーツの普及や小中学校の体育授業の充実のため、早稲田大学と連携し、教室の開催や基礎体力の向上のための調査・研究を行います。

数値でわかる中高年パワーアップ教室の開催 6,750 千円

児童・生徒の体力向上 2,000 千円

早稲田大学による体力向上調査委員会への支援 312 千円

## 6 分野別の主な施策

### (1) 区民の参画と協働の推進

「自治のつどい」開催 2,000 千円

杉並らしい自治の確立と区民との協働の推進を図るため、「自治のつどい」を開催します。

### (2) 電子区役所の構築

情報公開システム等の構築 225,523 千円

情報通信ネットワークを活用した情報公開システムの構築。効率的な行政経営を実現するために庶務事務システムの構築及び財務会計システムの再構築を行います。

### (3) 豊かな区民生活の創出

体験型農園の運営管理助成 800 千円

農園主の指導を受けながら、作付けから収穫までの農作業を体験できる体験型農園の開設に伴い、その運営管理費の助成を行います。

国際交流の推進 5,598 千円

「杉並区と瑞草区とのゆるぎない友好のための10年アクションプログラム」に基づき、杉並にある韓国ゆかりのものをとりあげた「友好共同冊子」の作成などを行います。

住基ネット運用監視第三者機関設置準備 1,500 千円

住基ネットの接続に際し、杉並区における運用状況を監視し、区民への公表等を行う第三者機関の設置準備を進めます。

### (4) 福祉と健康のまちづくり

グループ保育の整備 40,452 千円

待機児解消、特に乳幼児保育の需要に応えるため、旧高円寺中央出張所を改修し、グループ保育室を整備します。

保健福祉サービス苦情調整委員の運営 4,569 千円

保健福祉サービスに関する区民の苦情等の申し立てについて、公平かつ中立な立場で対応処理する「保健福祉サービス苦情調整委員」を区長の附属機関として設置します。

ひとりぐらし高齢者等安心ネットワークシステム 25,189 千円

ひとりぐらし高齢者等が地域の中で安心して生活していくことのできるシステムを構築するため、在宅介護支援センター（ケア24）に委託し、事業展開していきます。

障害者位置探索システム 442 千円

障害者やその家族の不安を解消するため、機器等の貸出しを行います。

喫煙対策 2,460 千円

喫煙のマナーの徹底や未成年の喫煙防止のため、講演会の開催、パンフレットの作成等積極的にPRしていきます。

(5) まちづくりの推進

(仮称) 荻窪北第三自転車駐車場開設 45,487 千円

駅周辺の放置自転車をなくし、安全で快適な都市環境を創造するため、西福祉事務所の移転跡地に収容台数 719 台の自転車駐車場を開設します。

永福自転車集積所拡張工事 11,925 千円

積極的に放置自転車の撤去を進めるため、永福自転車集積所の拡張を行います。

天王橋橋梁改良設計 10,710 千円

「すぎ丸」の運行経路上にあるなど重要な橋梁であり、歩道拡張による交通の安全性の確保と耐震性能の向上を図るため、改良に向けた基本設計を行います。

(仮称) 読書の森公園の整備 3,864 千円

中央図書館隣地に区民がみどりに触れながら読書に親しめる公園を整備するため、設計に着手します。

(6) 環境先進都市の推進

低公害車の普及促進 9,110 千円

自動車による大気汚染の改善を図るため、天然ガス自動車の購入助成と粒子状物質減少装置の装着費の助成を行います。

生活環境改善の推進 16,261 千円

生活安全及び環境美化に関する条例に基づき、指定される路上禁煙地区における掲示板の設置など、環境美化の整備を進めます。

地域省エネルギービジョンの推進 1,935 千円

平成 15 年 2 月に策定した地域省エネルギービジョンを推進していくため、推進組織を設置するとともに、区民の自主的な取組みを支援します。

(7) 教育環境の整備

国際理解教育の推進 6,323 千円

国際性豊かな青少年の育成を図るため、友好都市ウィロビー市への中学生海外派遣を行い、国際交流を深めていきます。

学校 IT の推進 10,064 千円

区立学校の教員に対し、ひとり 1 台のパソコンを配備し、時間割作成等の煩雑な教育事務を効率的に処理するためのシステムの導入をモデル的に 2 校で実施します。

中学校対抗駅伝大会 5,000 千円

5 周年記念大会を開催し、走ることの楽しさ、スポーツをすることの楽しさ、チームワークを形成することのすばらしさをさらに広げていきます。

和田堀公園プールの改修 62,330 千円

余暇、健康増進の場を充実するため、プール改修に着手します。

## 7 実施計画事業の予算化

### (1) 当初予算計上事業

区税収入をはじめ歳入が全般的に落ち込む厳しい財政状況の中でも、「21世紀ビジョン」に描かれた将来像と目標を実現するために、「実施計画」に定めた施策を可能な限り予算化しました。

実施計画の当初予算計上額は、144億6900万円

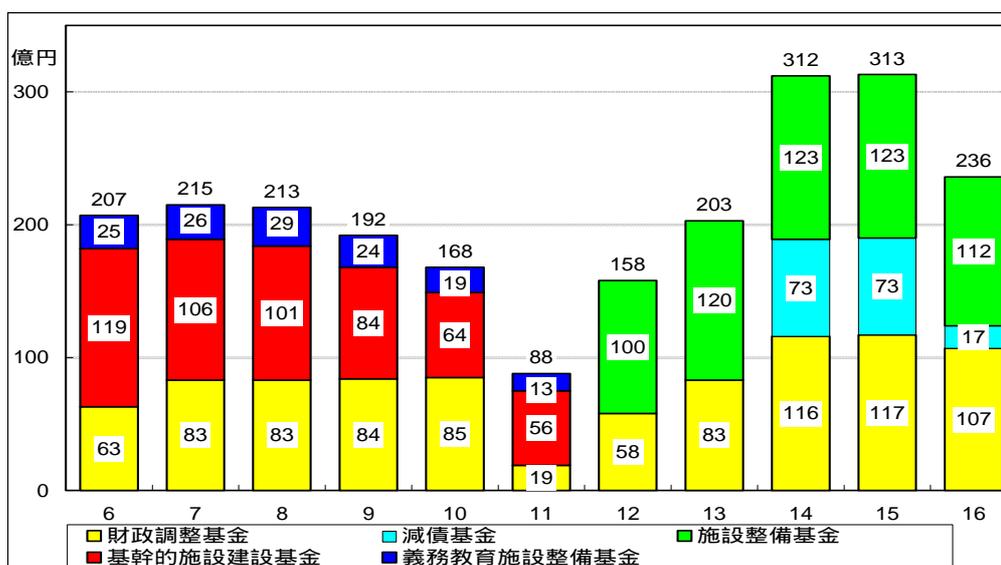
予算計上率は、今後の補正で対応する事業等を除き94.1%となります。

(単位：千円)

目 標	事業数	当回事業数	差引額
	計画額	当初予算額	
1 水辺をよみがえらせみどりのまちをつくろう	50 (43)	44	1,104,480
	6,223,000	5,118,520	
2 やさしさを忘れず共に生きるまちをつくろう	62 (54)	55	334,773
	4,918,000	5,252,773	
3 みどりの産業で元気のでる都市をつくろう	10 (7)	7	66,998
	138,000	204,998	
4 未来を拓く人をつくろう	35 (30)	30	886,450
	2,844,000	1,957,550	
5 ビジョンの実現に向けて	13 (12)	12	206,221
	346,000	552,221	
合 計	170 (146)	148	1,382,938
	14,469,000	13,086,062	

\* ( ) 内の数値は、16年度の計画事業数

図3 基金残高の推移

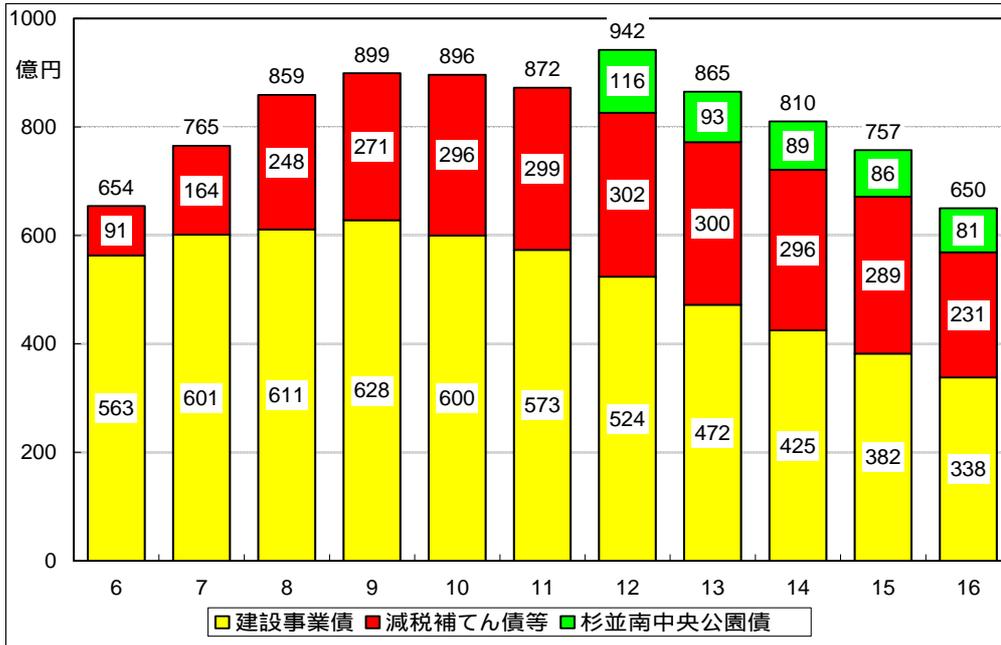


平成15、16年度については見込額

12年度は基幹的施設建設基金と義務教育施設整備基金の2つを施設整備基金として再構築しました。

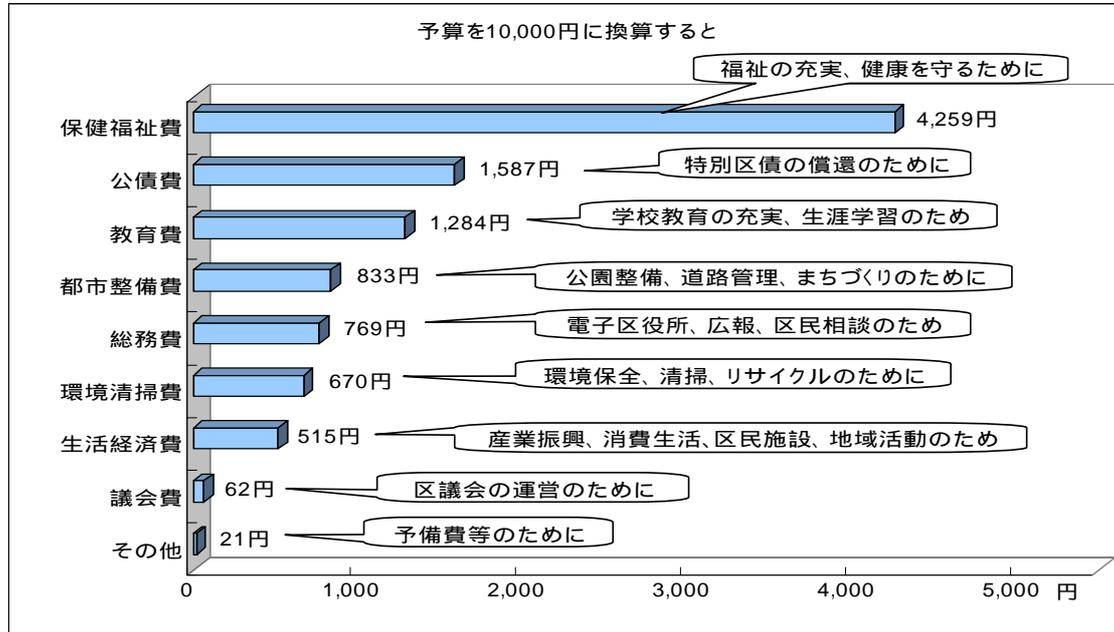
14年度から今後の公債費負担を軽減するために減債基金を設置しました。

図4 区債残高の推移



平成15、16年度については見込額

図5 一般会計当初予算の中身（歳出）



## 8 「スマートすぎなみ計画」の実施

13年度からスタートした「スマートすぎなみ計画」に基づき行財政改革を着実に実行し、「実施計画」事業など区民ニーズに応える事業の財源確保に努めています。16年度予算には、14年度に改定した「第2次行財政改革実施プラン」に基づく財政効果を見込んでいます。

### (1) 財政効果

行財政改革による財政効果は、39億947万円

計画目標額に対する達成率は98.4%

職員の削減見込 90名

(単位：千円)

項目名	目標額	当初見込額	目標額と見込額との差
1 新しい行政経営システムの創出	1,249,803	980,572	269,231
2 開かれた区政と区民との協働の推進			
3 変化に対応した施策の再構築	1,190,168	1,352,884	162,716
4 歳入の確保と強固な財政基盤の確立	1,534,689	1,576,019	41,330
合計	3,974,660	3,909,475	65,185

### (2) 財政健全化目標

17年度までに達成すべき当面の目標

行財政改革大綱の掲げる財政健全化目標の達成に向け、行革を推進してきました。第二次行財政改革実施プランに掲げた、17年度までに達成すべき当面の目標は以下のとおりです。

[基金積立額]: 年度間の財源調整を図る「財政調整基金」の積立額を、100億円とする。

平成16年度末残高見込 10,709,362千円

[特別区債]: 減債基金の活用により、起債残高を3年間で200億円以上削減する。

平成16年度末残高見込 64,970,044千円

平成14年度末残高 81,040,522千円

差引 16,070,478千円

[減税補てん債発行額]: 引続き発行額を圧縮し、17年度までに年10億円以下とする。

平成16年度発行見込額 1,100,000千円

## 9 特別会計

### (1) 国民健康保険事業会計

老人保健医療制度の対象者を70歳以上から75歳以上へ5年間で段階的に引き上げることなどの医療制度改革で、老人保健拠出金の負担が9億5000万円の減となる一方、保険給付費は18億円の増となり、その結果、会計規模は3.6%増加し、439億9228万2千円(対前年1,522,556千円増)です。

- ・被保険者世帯 136,681 世帯 (対前年 3,753 世帯増)
- ・被保険者数 209,815 人 (対前年 5,511 人 増)

国民健康保険事業 会計	予算額 (千円)	前年度予算額	差引増減額	前年比	構成比
	43,992,282	42,469,726	1,522,556	103.6%	-

歳入の主な事項 (単位:千円)

国民健康保険料	18,540,588	17,211,418	1,329,170	107.7%	42.1%
国庫支出金	13,388,492	12,971,245	417,247	103.2%	30.4%
療養給付費等交付金	5,391,545	4,981,388	410,157	108.2%	12.3%
繰入金	5,208,352	5,851,133	642,781	89.0%	11.8%

歳出の主な事項 (単位:千円)

保険給付費	27,072,651	25,263,033	1,809,618	107.2%	61.5%
老人保健拠出金	12,208,647	13,158,735	950,088	92.8%	27.8%
介護納付金	2,405,615	1,973,632	431,983	121.9%	5.6%

### (2) 老人保健医療会計

医療制度改革による、老人保健医療制度の対象者の段階的な移行などに伴い、対象者数、年間受診回数、1人当り年間医療費が減となりました。会計規模は対前年度6.4%減の、411億7687万3千円です。

- ・対象者数 57,258 人 (対前年 2,969 人 減)

老人保健医療会計	予算額 (千円)	前年度予算額	差引増減額	前年比	構成比
	41,176,873	43,990,833	2,813,960	93.6%	-

歳入の主な事項 (単位:千円)

支払基金交付金	27,495,300	30,811,634	3,316,334	89.2%	66.8%
国庫支出金	8,939,449	8,605,705	333,744	103.9%	21.7%
繰入金	2,505,265	2,422,070	83,195	103.4%	6.1%

歳出の主な事項 (単位:千円)

医療諸費	40,371,386	43,132,577	2,761,191	93.6%	98.0%

### (3) 用地会計

12年度に用地会計を活用して取得した(仮称)杉並南中央公園用地の一部を一般会計へ売却します。会計規模は10億5900万1千円です。

単位：千円

用地会計		予算額(千円)	前年度予算額	差引増減額	前年比	構成比
		1,059,001	1,083,001	24,000	97.8%	-
歳入	財産収入	1,059,001	1,083,001	24,000	97.8%	100.0%
歳出	公債費	1,059,001	1,083,001	24,000	97.8%	100.0%

### (4) 介護保険事業会計

第二期介護保険事業計画に基づき、保険事業を運営します。保険料については、3年間の事業運営により積み立てた「介護保険給付費準備基金」のうち11億2500万円を平成15年度から3年間投入し、保険料基準月額が3305円になるところを3000円に抑制し運営しています。予算規模は225億1912万6千円(対前年1,459,536千円増)です。

- ・第1号被保険者数 95,844人 (対前年 1,899人 増)
- ・保険料基準月額 3,000円
- ・要介護等認定者数 14,915人 (対前年 634人 増)

介護保険事業会計	予算額(千円)	前年度予算額	差引増減額	前年比	構成比
	22,519,126	21,059,590	1,459,536	106.9%	-

歳入の主な事項 (単位：千円)

介護保険料	3,711,778	3,634,640	77,138	102.1%	16.5%
国庫支出金	5,540,612	5,122,715	417,897	108.2%	24.6%
支払基金交付金	7,010,439	6,474,675	535,764	108.3%	31.1%
都支出金	2,738,452	2,529,170	209,282	108.3%	12.2%
繰入金	3,508,641	3,286,868	221,773	106.7%	15.6%

歳出の主な事項 (単位：千円)

総務費	332,106	323,119	8,987	102.8%	1.5%
保険給付費	21,907,619	20,233,357	1,674,262	108.3%	97.3%